

● 現在の経営状況*2

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	5.4 p	△ 10.1 p ↘
不動産流通業(住宅地)	△ 13.8 p	△ 9.5 p ↘
ビル賃貸業	15.0 p	15.0 p ↗

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	0.0 p	8.6 p ↗
不動産流通業(住宅地)	△ 12.0 p	△ 5.6 p ↘
ビル賃貸業	0.0 p	△ 2.6 p ↘

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 10.1p 悪化し 5.4p。12期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 9.5p 悪化し ▲13.8p。3期連続のマイナス水準。

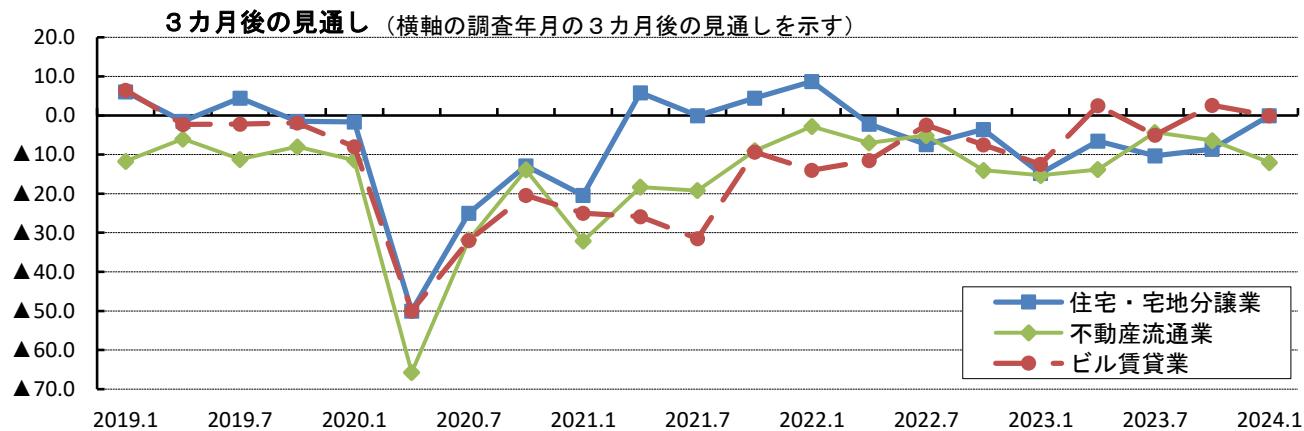
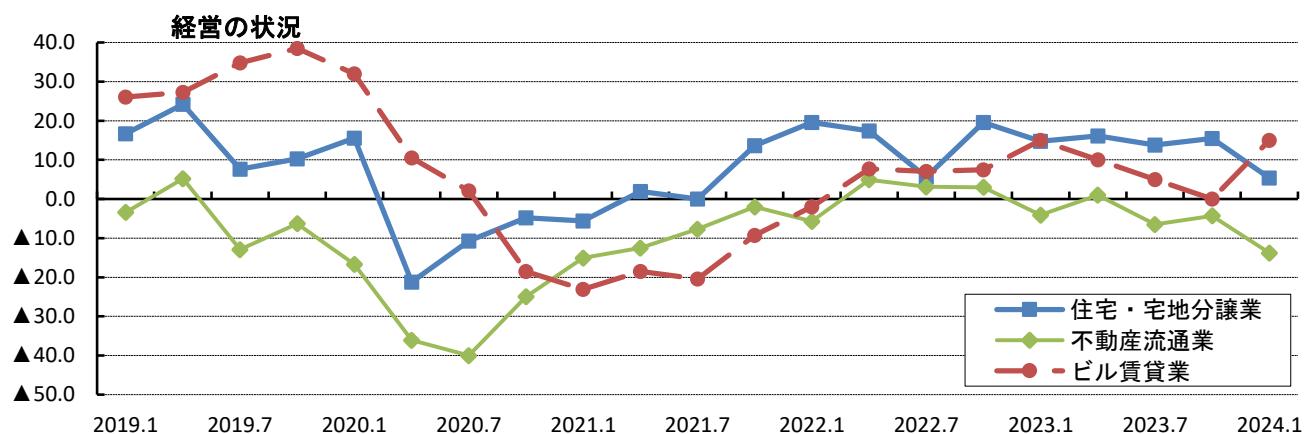
ビル賃貸業は前回から 15.0p 改善し 15.0p。8期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業で改善、不動産流通業、ビル賃貸業で悪化。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況=[（「良い」×2「やや良い」）-（「悪い」×2 +「やや悪い」）]÷2÷回答数×100

*3 3ヶ月後の見通し=[（「良くなる」×2+「やや良くなる」）-（「悪くなる」×2+「やや悪くなる」）]÷2÷回答数×100
(調査年月の3カ月後の見通しを示す。)



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料:一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第137号 | 不動産業業況等調査